

心

の

場

所

矢口

つ

て

る

?



豊島区立朝日小学校

5年 久保 瑛介

目次

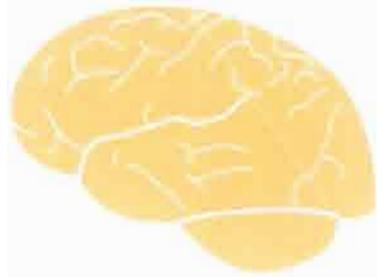
題名	ページ
目次	1 ~ 2
はじめに	3 ~ 4
言葉の意味を調べてみよう	5
図書館に行く	5
心ってなんだろう	6
ぼくの体験①心の動き	6
いろいろな感情	7 ~ 8
脳の働き	8 ~ 9
ぼくの体験②心と体	10
心と体はつながっている	11
心と体をきたえる	11
(1)なやみはあってあたりまえ	12
(2)バランスをくずすと心も病気になる	12
心の病気	13

気分障害(うつ病)	13
不安障害	
適応障害	
強迫性障害	
パーソナリティ障害	
統合失調症	14
なやみニ病気ではない	15
ぼくなりの心のあり方(まとめ)	16 ~ 17
立教大学 河野先生	18 ~ 19
質問に対するぼくの考え方	20
昔の人の考え方	21
感想	22
参考にした本や資料	22
利用した図書館	23
お世話をなった方	23

はじめに

ぼくは学校の保健の授業の時、心の発達ということを勉強しました。心はどこにあるか考えた時最初は、脳が心臓にあると思いました。なぜかというと、心臓の戸所によくハートマークのイラストがあるからです。

でも、いろんなことを考える脳にあるのかなとも思いました。



?



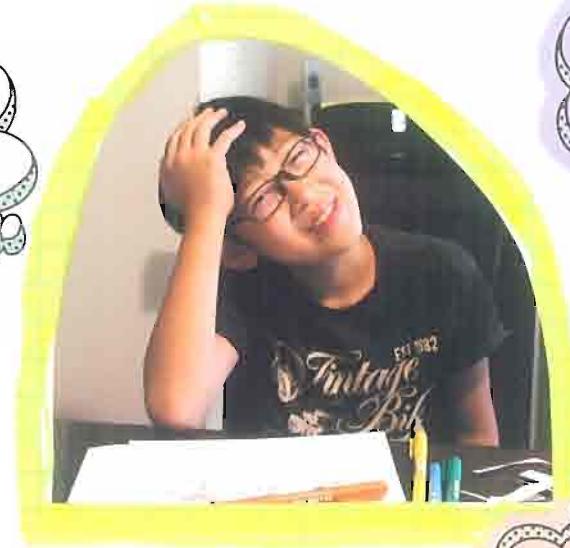
?



でも、脳が死んでしまった時、心や魂はあると考えると脳ではないかもしれません。

それでも心や魂は脳の一部になる

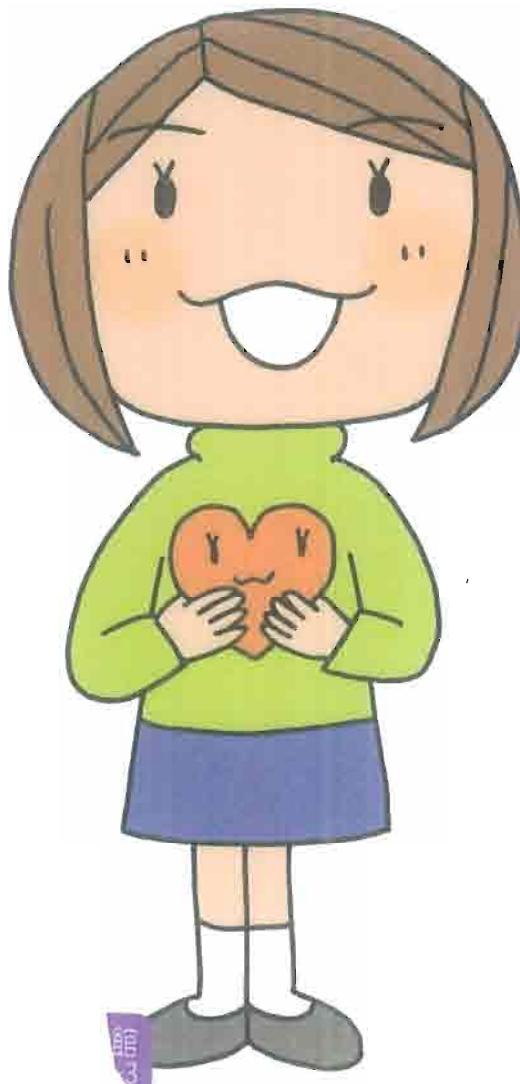
のか……



ぼくは、だんだん

分からなくなってしまった。

そこで、心はいったいどこにあるのが
心とは何なのか調べてみることにしました。



言葉の意味を調べてみよう

心 人が考えたり、感じたりするはたらき。精神 (例解学習国語辞典)

感情 うれしい、悲しいなどを感じる心の動き (例解学習国語辞典)

脳 頭のほねの中にある神経細胞が集まつたところ。
脳道。心や体の働きを命令する所 (例解学習国語辞典)

図書館へ行く

まず最初に「こころ」で、検索しました。いくつかの本はでましたが、心はどこにあるのかについて書かれた本はみつかりませんでした。そこで、図書館の方に相談してみました。しかし、心はどこにあるのかについて書かれた本はみつかりませんでした。

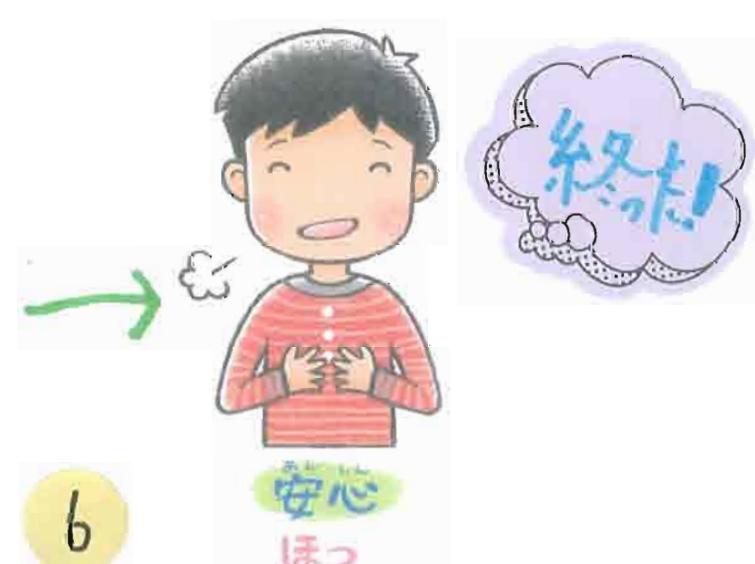
ぼくは、そこで「心とは何なのかを調べて自分なりに心のありかを考えてみることにしました。

心ってなんだろう？

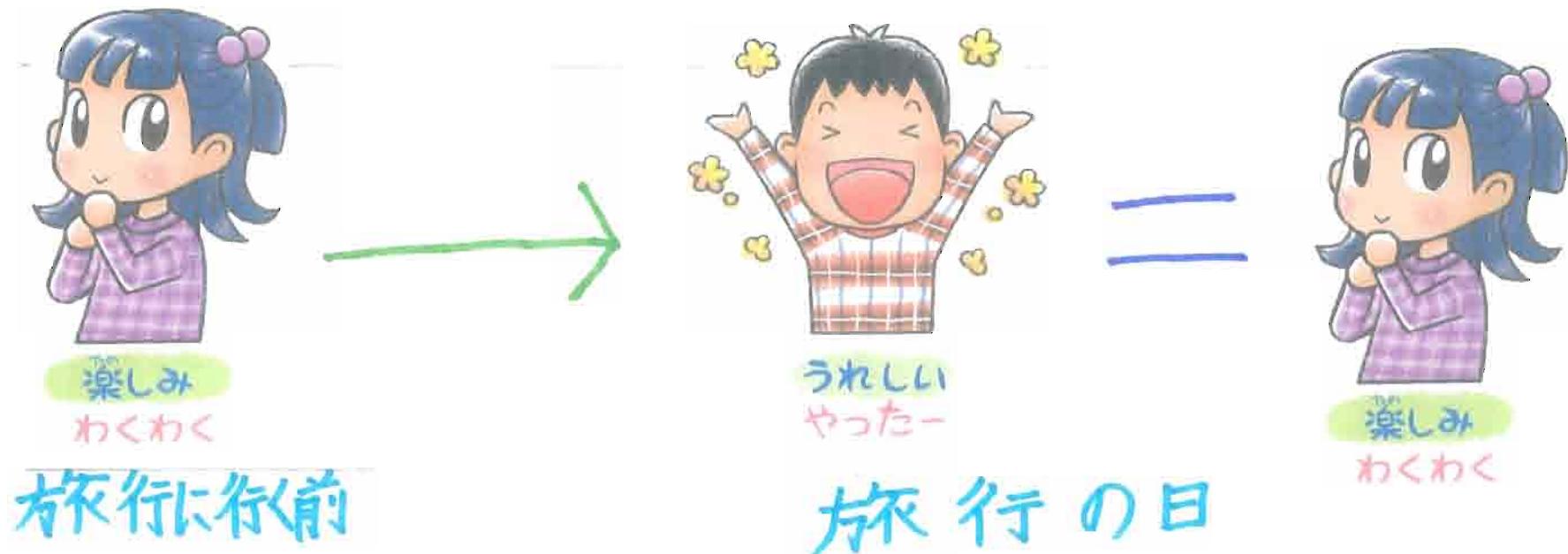
学校の授業で「心はどこにあると思う？」と、先生が聞いていたとき、友だちのほとんどが胸のあたりを指しました。しかし心は体と違って、目には見えません。ぼくは「心」って知っているようでもよくわからない、しきななものだなと思いました。

ぼくの体験①心の動き

①スイミングの記録会の時泳ぐ前は、緊張で、心臓とび出そうなほどドキドキします。でも、泳いだ後は、安心してほほえます。



②夏休みの方旅行に行く前、楽しみで、
おなかがキューッとなる感じがします。
そして、旅行の日になると、楽しみで月勾か
わくわくします。



いろいろな感情

100点とった時 一発芸を見た時 友だちにわざされた時 おもしろい遊びがない時



忘れ物がない時



試合に負けた時



おはけ屋敷に入った時



このようにいろいろな感情があります。

どの感情も、脳で考えて感じておこるものだとぼくは思います。

そこで脳のはたらきについて調べてみることにしました。

脳の働き

脳はヒトの体をコントロールする司令塔です。

体のいろいろな部分から集まってきた情報を整理して、判断し、指示を出します。

目や手や鼻などの感覚器官で受けたしげきを脳が受け取ります。

脳は、場所によって違う働きをします。



卷之三

に活動的であることを喜んでいた。しかし、この言葉は、彼の死後、彼の娘の手によって書かれたものである。

时间
单位

言葉の書

卷之六

思創軍運動考造告本の足を動かす考る、考るなど出ます

は、主に
の事。

は、主に
の事。

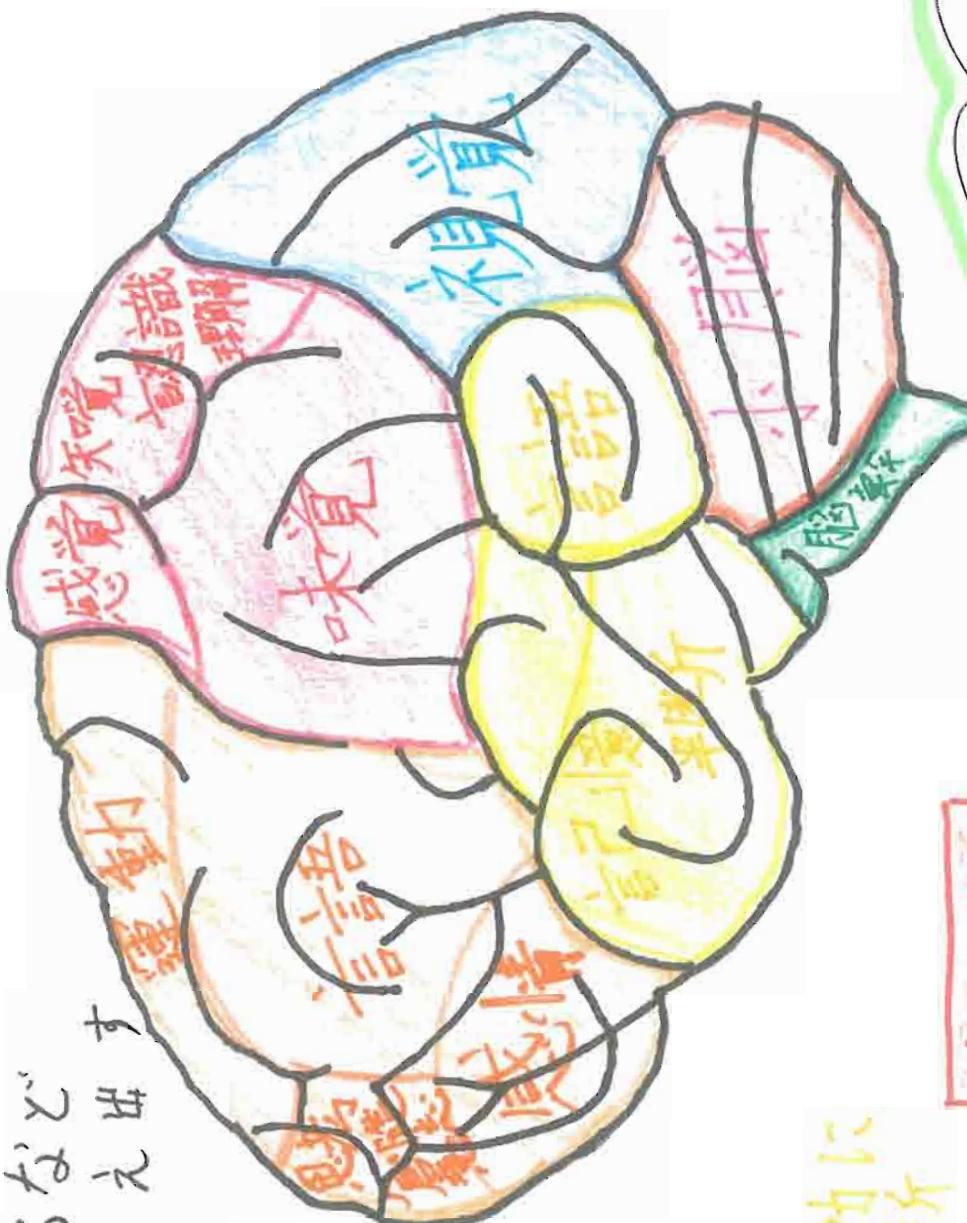
卷之二

六 戸所の星を處理するといふ覚寢の感覚

知覺---考究了、判斷了、也做了

後豆類

「見ねる戸口を覚へ……ものを見た。」
「戸口を見る……」
「戸口を見る」



脳のいろいろな役割がくみ合わさって人は考えたり行動したりしていることが分かりました。

しかし、胸がどきどきしたり、胸がキューッと苦しくなったり、病気でもないのに起こるのはなぜなのだろう。



ぼくの体験② 心と体

スピニングの練習がつらくてイヤだった時、練習の前は、いつもおなかが痛くなっていました。
(おなかをこわしていないのに)
でも練習になれて、上手になると、いつの間にかおなかが痛くなることがなくなりました。

このような体験からぼくは、心と体はつながっているのではないかと思いました。

心と体はつながっている!?

感情のコントロールセンターが大脳の中あります。そのすぐ下の間脳に内でのコントロールセンターがあります。どうして胸がときどきしたり、緊張しておなかがむずむずしたりするのは大脳と間脳が近くにあるからです。

考えたり、言葉を
話したり「好き」「きらい」など
の気持ちをつくる所



体温や汗など体全体を
調節する所

心と体をきたえる!

笑ったり、怒ったり、悲しげたりといった心の動きは、脳によって生みだされています。

脳も心も体も成長とともに変化していきます。

体が成長して、身長がのびるよう、心も大人に向かってどんどん成長していきます。

(1) なやみはあってあたりまえ

子どもの心は成長している途中です。
とくに周囲の影響を受けやすく、
変化しやすいです。だから、なやみがある
のがあたりまえです。いろいろな人と会って、
いろいろな経験をしてなやんだり、考えたり
して、その人にあった解決の方法を見つける
ことが、心も体も大人にしてくれます。

(2) バランスをくずすと心も病気になる

心が疲れたりキズついたりすることで、月経の働きに変化が起こった状態が「心の病気」です。
体が病気になると、熱がでたり、体のどこかが痛かったりすると、具合が悪くなります。
しかし、目に見える体のこととはわかるけれど、心は見えないので分かりづらいです。
心は体と同じように病気になります。

心の具合が悪くなると元気がなくなりたり、
イライラしたり、ときには体の具合が悪くなったりします。

心の病気

気分障害(うつ病)



体がつかれても重力けなくなってしまうよう、心がつかれて笑ったりがんばったりできなくなる病気。「心のかぜ」とも呼ばれている。

よくねむれない



不安障害

なにかわいことが起こり、
そうな気がして、気が
落ちつかなかったり急に心が
不安でいっぱいになって、
胸がドキドキしたりする。

やせたり、太ったり



適応障害

いじめにあったり、友だちとケンカしてしまうなど、イヤなことがあるせいで、ふだんの生活が送れなくなってしまう。

強迫性障害

自分でおかしいとわかっているのに、同じことをなんどもくりかえさないと、とても不安になってしまう。

学校に行けなくなる



パーソナリティ障害

友達や兄弟と仲よくできなくなってしまう病気。時間とともに解決することができほとんど。心のキズがかかる可能性もあります



統合失調症

気持ちがひどく高鳴ったり、やる気がでなくなってしまったりと心が落ちつかずにはげしく動く病気



なやみ≠病気ではない

なやみは心のなかにしまっていても、自然に消えるものではありません。ひとりでかかえていると、考えすぎてかえてなやみが深くなったり、どうしたらいいか分からなくなってしまいます。

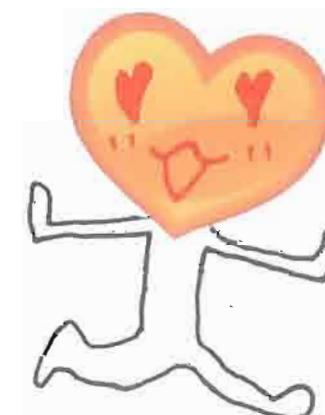
つらいときには、だれかと話すことが大切です。あうちの人や仲のいい友だち頼れる人に自分の気持ちを話してみましょう聞いてもらうだけでも、気持ちがグッとラクになります。



ぼくなりの心のありが (まごめ)

最初、ぼくは心は脳にあるのではないかと
と考えました。しかし、心について調べてみると、
どうやら脳だけではないような気がしてき
ました。

なぜなら、人との関わりや、物を見て、さわったりして
感じることが脳につたわけ、
心をつくり出すからです。



人との関わりや、物を見て、さわったりして、感じた
りすることかなったら、心や感情はうまれる
のだろうか？もし産まれた時から、ちいさな箱の中
だけで育つとしたら、お父さんやお母さんに会
いたいという気持ちや、さみしいという気持ちは
うまれてくるだろうか？

そこから考えると、ぼくの考える心は、体全体
にちいさな心のつぶがある、それが外からの

刺さりを受けて胸に心のつぶが集まってきます。その心のつぶが胸で感じられて、感情となって作り出されます。それが新しい別のつぶとなってまた体中にもどっていきます。これをくり返すことにより、人の心は成長していくのではないだろうとぼくは考えます。だから心は体のいろいろな所にあると思います。



立教大学の河野先生(哲学者)にメールを送ってみました。

豊島区立朝日小学校5年 久保 瑛介です。

突然メールを送ってすみません。

ぼくは、夏休みの自由研究で『人のこころはどこにあるのか?』ということを調べています。

最初、少し考えれば自分なりのこころのありかが見つかると思っていました。

しかし、調べれば調べるほど、考えれば考えるほどなやんでしました。

そこで、「こども哲学おとな哲学アーダコーダ」のサイトで河野先生のことを知りました。

河野先生に質問があります。

質問1 河野先生の思うこころはどこにあると思いますか?

質問2 脳死になったとき、こころはどうなるとおもいますか?

質問3 ロボットはこころをもつようになるとおもいますか?

も

<ぼくが思うこころのありか>

最初ぼくは、こころは脳にあるのではないかと考えました。

しかし、こころについて調べてみるとどうやら脳だけではないような気がしてきました。

なぜなら、人とのかかわりや、ものを見てさわったりして感じることが脳に伝わってこころをつくりだすからです。

人との関わりや、ものを見てさわったりして感じたりすることがなかったら、こころや感情は生まれるのだろうか?

もし産まれた時から、ちいさな箱の中だけで育ったとしたら、お父さんやお母さんに会いたいという気持ちやさみしいという気持ちは生まれてくるだろうか?

そこから考えると、ぼくの考えるこころは、体全体にちいさなこころのつぶがあつて、それが外からの刺げきを受けて、脳にこころのつぶが集まっています。そのこころのつぶが脳で感じとられて、感情となってこころを作り出します。それが新しい別のつぶとなってまた体中にもどっていきます。これをくりかえすことによって人のこころは成長していくのではないだろうと考えます。だからこころは体中のいろいろなところにあると思います。

もし、よかったですらお返事ください。

久保 瑛介



久保瑛介様

ご連絡、ありがとうございます。立教大学の河野です。

とても面白い問い合わせについて考えていますね。これは、心身問題といって哲学上の難問です。簡単に答えはでない問題ですが、私に聞いて正解を得ようとしないで、できるかぎり自分で考えてみてください。

下の三つの疑問についての私の考えは、私の著作のなかで解答しています。関心があったら、かなり難しいと思いますが、読んでみてください。

http://www.amazon.co.jp/gp/product/B00GU4RAXU?keywords=河野哲也&qid=1439046146&ref_=sr_1_14&sr=8-14



自分の考えを述べてくれてありがとうございます。

>そこから考えると、ぼくの考えるこころは、体全体にちいさなこころのつぶがあつて、それが外からの刺げきを受けて、脳にこころのつぶが集まっています。そのこころのつぶが脳で感じとられて、感情となってこころを作り出します。

私の質問だけど、『こころのつぶ』ってどういうもの?なんできているの?こころって感情でできているの?感情以外にこころのはたらきってないの?

こんな問題について考えて、夏休みの宿題にしてみてください。

河野哲也 (こうのてつや)

立教大学文学部・教授

VYQ05706@nifty.com

<http://www2.rikkyo.ac.jp/web/tetsuyakono/>

差出人: "Eisuke Kubo"
日時: 2015年8月10日 18:41
宛先: <tetsuyakono@rikkyo.ac.jp>
件名: 豊島区立朝日小学校 5年 久保瑛介です。

河野先生お返事ありがとうございました。
先生の本も、お父さんに買ってもらったので少し難しそうですが、読んでみたいとおもいます。

先生の質問も考えてみました。むずかしくてわけが分からなくなってしまいましたが、自分なりに考えてみました。

質問1「こころのつぶ」ってどういうもの？何でできているの？

こころのつぶはこころのちいさなたまごで、ぼくは電気みたいなものと考えています。体中に「こころのつぶ」はあって神経細胞を使って動きまわっているのではないかと考えています。だから、外からの刺激をうけて働きだします。でも、目には見えないのでよくわかりません。

質問2こころって感情でできているの？

こころは感情だけではないと思います。こころの中に感情があります。こころはもっとふくざつで、その人の年齢や環境、人との関わり合い、いろいろな思いや考え方などがえいきょうしあって生まれるものだと思います。

質問3感情以外のこころのはたらきは？

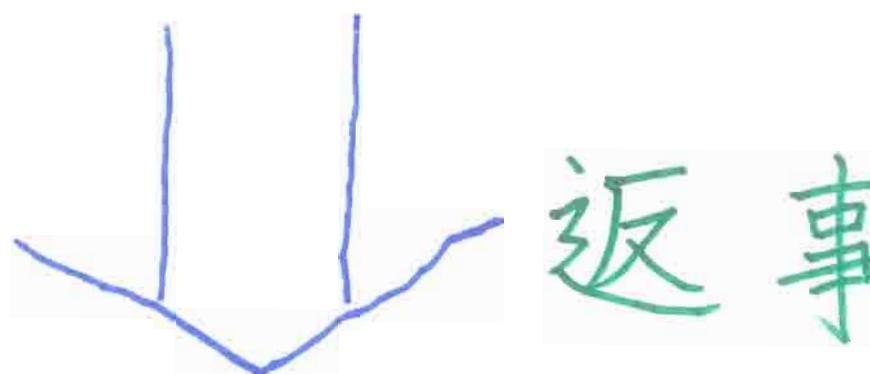
ぼくは、いろいろな経験をすることによって、いろいろな考え方をしてこころは大きく育つと考えます。だから、こころは
感情だけではなくて、その人の思いや考えもふくむと思います。

これが今ぼくの思うこころです。

だんだん、ぼくの思うこころも変わってくると思うので昔のアリストテレスやプラトンが考えてきたように僕も考え続けたいとおもいます。先生から返事がもらえてうれしかったです。

朝日小学校 5
年

久保 瑛介



差出人: "河野 哲也" <VYQ05706@nifty.com>
日時: 2015年8月10日 19:40
宛先: "Eisuke Kubo"
件名: Re: 豊島区立朝日小学校 5年 久保瑛介です。

久保瑛介様

お返事ありがとうございます。

いろいろ考えてくれたね。「こころのつぶはこころのちいさなたまごで、ぼくは電気みたいなものと考えています」って書いてくれたけど、どうしてそう思うのかな？もっとよく考えてみて。

それはともかく、哲学って一人で考えよりも、いろいろな人と話し合った方が自分の考えも深まりますよ。

そこで、アーダコーダというグループでは、小学生や中学生同士で哲学のテーマについてディスカッションする会を開催しています。

アーダコーダのホームページ <http://ardacoda.com>
フェースブック <https://www.facebook.com/ardacoda?ref=nf>

お父さんにお願いして、インターネットでアクセスしてみてください。次のイベントに参加してもらうと良いと思います。
それでは、また疑問がわいたらメールしてください。

河野哲也（こうのてつや）
立教大学文学部・教授
VYQ05706@nifty.com
<http://www2.rikkyo.ac.jp/web/tetsuyakono/>

たくさん考える
ヒントを
いただきました。



質問に対するぼくの考え方

質問1 心はどこにあるのか？

体中に心のつぶがある、と外からの刺激を受けて、体中のつぶが脳に集まって、感情や思考を作り出す。心のつぶは電気みたいなものだと思います。

質問2 脳死になった時、心は？

心のつぶは脳には集まれないけれど、体中に小さな心のつぶが残っているので小さな心はあると思います。

質問3 ロボットは心を持つ？

ロボットが心を持つとは思えないけど、心を持つロボットを研究している人もいるので、いつかそんな日が来るかもしれません。でもちょっとこわいです。

昔の人の考え方

古代ローマ時代にアリストテレスは、「心は心臓にある」と考え、プラトンは、「心は脳にある」と考えたそうです。

古代エジプト人は心臓と子宮、ユダヤ人はは肝臓、インドでは頭と考えられていました。

そして18～19世紀頃、現在に続く西洋医学で脳と精神が深い関係である事がわかつてきました。

一方日本では「やまとことば」でハの「ココ」は心臓の鼓動、「口」が場所を現すそうです。心臓を心の臓器と書くことからも、「心は心臓にある」と考えられていました。

科学が発達した現在では、諸説あります。しかしどれも、確かな証拠はなく、結局今まで解明されていません。

感想

ぼくは、さいは少し考えれば自分なりの心のありかが分かると思っていました。

しかし、調べてれば調べるほど、そして、考れば考るほど、けっこうなやんてしましました。自分なりの心のありかをかんがえぬいて自分なりの答えをみつけた時は、うれしかったです。

参考にした本や資料

- ・心とつながっているからだ(からだと心のふしきシリーズ③)
発行所 (株)アリス食官
- ・小中学生の「心の病気事典」
発行所 PHP研究所
- ・目で見る脳の働き
発行所 さえら書房
- ・心のバランスとストレス
発行所 (株)金の星社
- ・みんなの保健 5・6年
発行所 学研

利用した図書館

豊島区立中央図書館

お世話をなった方

河野先生

お母さん・お父さん